

やまびこ支援学校 令和7年度 第3回 学校運営協議 議事録

日 時:令和 8 年 1 月 27 日(木)15:30~17:00

場 所:山梨県立やまびこ支援学校 視聴覚室

■ 校長あいさつ

今年度からスタートした学校運営協議会が、地域の皆さまのご支援により順調に進んでいることへの感謝が述べられた。今後も“かがやくえがお”の学校づくりを地域とともに進めていく方針が示された。

■ 主な協議内容

1. 各分掌からの取り組み報告

- **研究研修**:ICT 活用、発語のない生徒の支援の実践報告。
- **相談支援**:地域の傾向として若い教師の増加や地域の状況を踏まえた外部専門家の活用、東部地区特別支援連携会議の報告。
- **進路指導**:令和 7 年度卒業生の進路状況、現場実習の様子を VTR で紹介。東部圏域についての現状と課題について共有された。
- **生徒指導**:いじめは未報告ながら、日常的な観察や相談しやすい体制づくりを継続。クマ出没対応マニュアルを追加。

2. 働き方改革の取り組み

働き方改革ワークショップの取り組みについて、業務の見直し、校務 DX 化、教育の質の向上と放課後の時間確保、明るい職場づくりの取り組みを報告。

運営協議会委員から、若手教員の離職増加について話題が提供され、現場で可能な工夫を進めていくことが共有された。

3. 学校改善アンケート結果

- 保護者アンケートでは 8 割以上が肯定的。
- 「わからない」の回答があった項目については改善を図り、よりわかりやすい情報発信を行っていく方針。

- 職員アンケートでは、トップダウンとボトムアップのバランスを取り、チームで支え合う組織づくりを目指す。

4. 学校評価(学校関係者評価)

今年度は運営協議会委員の力添えにより、中学部の地域交流が実現し、大きな成果として共有された。

年度末評価を基に委員の方へ評価記入を依頼。

5. 意見交換

授業参観や行事参加を通じて学校の様子がよく理解できたという意見が多く、地域との継続的な交流や、教職員の働き方改革への期待など、前向きな意見が寄せられた。

■ 委員別 意見要約

● A 委員

- 学校の取組や実情を知るよい機会となり、有意義であった。

● B 委員

- 中学部の交流先が見つかり、1年目として大きな一歩を踏み出せた。
- 今後も2年目、3年目と継続して取り組んでほしい。

● C 委員

- 児童生徒の教育が充実してきていると感じている。
- 教職員の働き方改革がさらに進むことを期待している。

● D 委員

- 授業ややまびこまつりの参観が良い体験になった。
- やまびこまつりに保護者も参加できると一層盛り上がる。
- 寄宿舍での布団干しなど生活指導が丁寧に行われている点に好印象を持った。

- じゃがいも作りなど、今後も学校活動に関わりたい。

● E 委員

- 進路に関する知らなかった事柄を知ることができ、学びになった。
- 通勤時にやまびこ支援学校の生徒を見かけない日があった。熱中症予防やクマ出没対策等の期間に自主通学を中止しスクールバスでの登下校に代えたという理由を知り、きめ細かな指導が行われていると感じた。

● F 委員

- CS(コミュニティ・スクール)の意義を再確認したいと話題を提起。
- 本年度はD委員が事実上のコーディネーターとして役割を果たした。
- 来年度は1年かけてコーディネーター候補を探す取組も良いのではないか。
- CSが形骸化しないために必要な観点(会議回数、発言の偏り、協議不足)を指摘。
- 先進事例として都留市の取組を参考にしようか。

● G 委員

- 普段の相談業務では得られない形で児童生徒とかかわることができ、良い機会だった。

● H 委員

- 校内カフェの利用を通じて学校への理解が深まり、有意義な場であった。
- 生徒と教職員双方にとって安心できる「win-winの関係づくり」ができると良い。

■ 連絡事項

- 次年度の第1回協議会は**6月16日(火)**に授業参観と合わせて実施予定
- 第2・3回はカフェ営業日に合わせた参観を予定

■ おわりに

- 今回の意見交換では、「学校をもっと良くしたい」「子どもたちの学びを支えたい」という委員のみなさまの温かな思いが随所に感じられた。地域が学校を知り、学校が地域に開かれることで、やまびこ支援学校はこれからも“かがやくえがお”の未来へ歩み続けていきたい。